

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鳥取社会福祉専門学校
設置者名	学校法人小林学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	夜・通信	750 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務室にて閲覧

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鳥取社会福祉専門学校
設置者名	学校法人小林学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務室にて閲覧

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	地方公務員	令和6年4月～ 令和10年3月	業務執行上の助言、 指導
非常勤	音楽講師	令和6年4月～ 令和10年3月	学校運営上の助言、 指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鳥取社会福祉専門学校
設置者名	学校法人小林学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。																		
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)																		
<ul style="list-style-type: none"> 各担当教員等が前年度末までに授業計画(シラバス)を作成。 当該年度の授業初回に学生へ授業計画(シラバス)を配布し説明している。 																		
授業計画書の公表方法	事務室にて閲覧																	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。																		
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)																		
<p>学生が授業科目を履修した場合には、試験のうえ合格した者に対して所定の単位を与える。</p> <p>試験は毎年2回学期の終わりに施行する。</p> <p>試験は授業時間数の3分の2以上出席して履修しなければ受けることはできない。(但し、介護実習は5分の4以上のこと)</p> <p>各科目の授業(講義・演習・実習)に出席し、試験及びそれに準ずるもの(課題・報告書・レポート等)により別表の基準により単位が取得できたか否かが決定される。</p> <p>評価においては、試験の成績の他、随時行われる臨時試験・平常の勉学態度などを考慮し、総合的に評価され、その結果が100点法で表される。</p> <p>こうして評点が60点以上であった場合、はじめて合格となり「優・良・可」とともに所定の単位数が取得できることになる。</p> <p>本校に2年以上在学し、所定の単位(81単位以上、1920時間以上)を取得した者には、卒業証書を授与する。</p>																		
(別表)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">判定</th> <th colspan="3">合格</th> <th>不合格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">評価</td> <td>評点</td> <td>100～80</td> <td>79～70</td> <td>69～60</td> <td>59～</td> </tr> <tr> <td>評語</td> <td>優</td> <td>良</td> <td>可</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>		判定		合格			不合格	評価	評点	100～80	79～70	69～60	59～	評語	優	良	可	不可
判定		合格			不合格													
評価	評点	100～80	79～70	69～60	59～													
	評語	優	良	可	不可													
※評価は評点と評語で表す。																		

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>指標の算出方法は、履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務室にて閲覧</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育基本法」及び「学校教育法」並びに「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき広く知識を広く知識を授けるとともに、良き社会人としての教養を高め、深く社会福祉分野とそれに関与する保健、医療の専門的知識と技能を養い、良き職業人としての実力の鍛成につとめ、社会福祉の進展に寄与する人材を育成することを目的とする。</p> <p>81単位以上、(1920時間以上)の履修し、かつ、原則として(社)日本介護福祉士養成施設協会が実施する学力評価試験を2年時の総まとめとして受験し、合格しなければ卒業出来ない。</p> <p>卒業判定会議にて最終判定を行い、卒業認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務室にて閲覧</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鳥取社会福祉専門学校
設置者名	学校法人小林学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務室にて閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務室にて閲覧
財産目録	事務室にて閲覧
事業報告書	事務室にて閲覧
監事による監査報告（書）	事務室にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉関係		教育・社会福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間部	1920時間／81単位 単位時間／単位	690単位 時間/46 単位	690単位 時間/23 単位	540単位 時間/12 単位	0単位時 間/0単位	0単位時 間/0単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		30人	0人	5人	9人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

- ・各担当教員等が前年度末までに授業計画（シラバス）を作成。
- ・当該年度の授業初回に学生へ授業計画（シラバス）を配布し説明している。

成績評価の基準・方法

（概要）

各科目の授業（講義・演習・実習）に出席し、試験及びそれに準ずるもの（課題・報告書・レポート等）により別表の基準により単位が取得できたか否かが決定される。評価においては、試験の成績の他、随時行われる臨時試験・平常の勉学態度などを考慮し、総合的に評価され、その結果が100点法で表される。

こうして評点が60点以上であった場合、はじめて合格となり「優・良・可」とともに所定の単位数が取得できることになる。

（別表）

判定		合格			不合格
評価	評点	100～80	79～70	69～60	59～
	評語	優	良	可	不可

※評価は評点と評語で表す。

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>81 単位以上、(1920 時間以上)の履修し、かつ、原則として(社)日本介護福祉士養成施設協会が実施する学力評価試験を2年時の総まとめとして受験し、合格しなければ卒業出来ない。</p> <p>卒業判定会議にて最終判定を行い、卒業認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>チューター制度(個別指導の教師)の導入により、担当教員によるきめ細やかな個人指導を行い、より充実した支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21 人 (100%)	0 人 (100%)	21 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 老人福祉施設、介護老人保健施設、医療機関等			
(就職指導内容) 就職オリエンテーション、就職ガイダンス、三者面談を実施。 担当教員や就職担当による個別指導も行った。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士、レクリエーション・インストラクター			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41 人	3 人	7.3%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) こまめな面談を実施し、学生の悩みや相談に応じるよう対応している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	200,000 円	560,000 円	285,185 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
ラ・メール修学生制度、介護等資格保有者入学奨励金制度、他大学・専門学校進路変更入学奨励金制度、兄弟姉妹(親子)入学奨励金制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室にて閲覧		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 同窓会役員による学校教育活動および母校の発展に寄与するための評価をし、意見などを取り入れて改善していく。教育環境および就職指導など学校運営の整備について、同窓会役員 3 名の委員に評価していただく。年に一度実施し、それを次年度に向けて学校長が改善を検討する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
	2年(令和5年4月～令和7年3月)	卒業生
	2年(令和5年4月～令和7年3月)	卒業生
	2年(令和5年4月～令和7年3月)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室にて閲覧		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kaigosi.ac.jp/
--